

実をはかってきた。

P T A・婦人団体については、指導者研修会や運営研究協議会を中核として、団体の民主的運営、本質的活動の促進につとめ、さらに一般行政との密接な連係、団体相互の連絡提携などにより、各種の条件整備をはかってきた。

## 2 P T A 指導者研修会

### (1) 目 的

P T Aの組織・運営・活動上の諸問題について研究協議し、P T Aの本質的活動の助長をはかる。

### (2) 主 催

福島県教育委員会

会津若松市教育委員会

### (3) 期日・会場・参加者数

昭和44年9月27~28日

会津若松市立第三中学校

参加者数 653名(内高校P T Aより 143名)

### (4) 参加対象者

小・中・高等学校P T A幹部指導者

### (5) 講師および助言者

#### ① 講 師

前東京都教育研究所長 大森 晃

#### ② 助 言 者

県教育庁社会教育課員

県教育事務所社会教育主事

### (6) 研究内容

#### ① 講 義

児童・生徒の健全な成長をはかるためにP T Aはどのような活動をすればよいか。

#### ② 協 議 事 項

ア. P T Aの望ましい組織と運営について

イ. 会員の教養を高めるための活動について

ウ. 児童・生徒の校外生活指導活動について

エ. 教育環境の浄化と改善のための活動について

### (7) 効 果

本年度は初めて高校P T Aからの参加を得て上記の4分科会をそれぞれ小・中・高の部会に分け、具体的な事例を通して研究協議し、方策が検討され、幹部指導者としての理解と自覚が深められたので、P T Aの地域活動の助長に貢献したものと思われる。

## 3 P T A研究調査活動

### (1) 目 的

P T Aの本質的活動を推進するために、その組織・運営・活動をどのように改善すればよいかについて実践的研究を深める。

### (2) 研究委嘱P T A

前年度より引き続いて研究を委嘱したP T A

保原町立保原小学校P T Aほか12団体

本年度新たに研究を委嘱したP T A

福島市立清明小学校P T A

いわき市立平第四小学校P T A

古殿町立田口小学校P T A

### (3) 研究テーマ

#### ① 共通テーマ

P T Aの望ましい組織・運営はどのようにすればよいか。

#### ② 選択テーマ

ア. 会員の教養を高めるための活動

イ. 児童・生徒の校外生活指導活動

ウ. 地域社会における環境の浄化、改善活動

### (4) 研究結果

研究P T Aにおいてはそれぞれ地域の特性、P T Aの特色を明らかにし、組織・運営・活動上の現状と問題点を分析して研究計画を立て、父母と教師が一体となって真剣に実践的研究を進めてきた。二年間の研究成果は発表会を開いて効果の波及をはかる。

## 4 P T A運営研究協議会

### (1) 目 的

研究委嘱P T Aの研究成果の発表をもとに、関係者が一同に会してP T Aの望ましい組織・運営・活動について研究協議を行ない、P T Aの本質的活動の助長をはかる。

### (2) 主 催

福島県教育委員会

開催地教育委員会

### (3) 期日・研究発表P T A

10月16日 岩代町立小浜中学校P T A

10月22日 相馬市立桜丘小学校P T A

10月23日 浪江町立大堀小学校P T A

10月27日 城町立城小学校P T A

11月4日 保原町立保原小学校P T A

11月6日 高田町立第一中学校P T A

11月7日 南郷村立富田小学校P T A

11月10日 会津若松市立門田小学校P T A

11月18日 喜多方市立入田付小学校P T A

11月20日 三春町立中郷小中学校P T A

11月24日 郡山市立行健第二小学校P T A

11月25日 西郷村立米小学校P T A

11月27日 鏡石町立鏡石中学校P T A

### (4) 参加対象者

各管内小・中学校P T A幹部

### (5) 講 師・助言者

#### ① 講 師

県教育庁社会教育課長 大越源三郎

同 主幹 原田 貞

#### ② 助 言 者

県教育庁社会教育課員・県教育事務所社会教育主事・

市町村教育委員会社会教育主事

### (6) 研究内容

#### ① 研究委嘱P T Aの研究成果の発表

#### ② P T A運営に関する研究協議

#### ③ 講 義

#### ④ まとめと指導

### (7) 効 果

研究委嘱P T Aにおける二か年間の研究成果の発表は参